

社会資本整備総合交付金 チェックシート

計画名称

都道府県・市町村名

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
I 東北処理区下水道事業計画による認可面積238.0haのうち平成28年度末で約208.3haが整備されており、引続き整備促進を図ることとしているものであり上位計画との整合性はとれている。 II 上北中央処理区下水道事業計画による認可面積241.0haのうち平成28年度末で約175.3haが整備されており、引続き整備促進を図ることとしているものであり上位計画との整合性はとれている。	
②地域課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
・地域住民の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を目的とした整備計画の目標を立てている。	
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
・整備計画の目標達成に向けた定量的指標を設定している。	
②定量的指標の明瞭性	○
・定量的指標は下水道の普及状況を的確に捉えており、未普及解消に適した指標である。	
③目標と事業内容の整合性	○
・事業内容は下水道整備に係わる事業としており、計画の目標と整合している。	
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
・基幹事業の幹線と枝線整備に伴う、端部枝線(単独管)整備を町単独費で一体的に行うことにより、より一層の下水道未普及解消を図ることができる。	
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成などを踏まえた事業実施の確実性)	○
地域毎に住民説明を行い下水道事業計画に対する理解・協力を得て事業執行を図っている。	
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○
・他事業である集落排水事業、合併浄化槽事業と連携し、町全体の汚水処理施設整備の促進を図り、早期の汚水処理人口普及率の向上を目指すこととしている。	